■山崎闇齋 儒学者・神道家。垂加神道唱え、のちの尊王運動に影響。群を抜く峻烈さで俊秀輩出、名声は官学の林家を圧倒。

やまざきあんさい

・ ・ ・ ・ ・ 1618 = 京都で、備中国足守藩主家臣から浪人となり、零細な鍼医の4人兄弟の末子に生まれる。名は清兵衛。

徳川家光将軍1623 = 5歳 :

__生意気ないたずら小僧であったが、

紫衣勅許無効1627 = 9歳 :

紫衣事件・ ・ 1629 = 11歳 : __悩んだ父により、比叡山延暦寺に入れられると、学問に目覚めて大変身するも、峻烈さは変わらず、

徳川秀忠没・ 1632 = 14歳 :

東照宮完成・ 1636 = 18歳 : *__その学才に注目した土佐藩主山内康豊に招かれ、黄檗宗妙心寺に住む。仏道にありながら、

__谷時中・野中兼山・小倉三省らを中心に流行していた儒学(海南朱子学)の影響を受け、

__仲間の僧と激しい議論を繰り返すうち、

家光鎖国完成1641 = 23歳 :

初の高札・ ・ 1642 = 24歳 :

__谷時中の「中庸」の講義に感激、還俗して儒者になる決意を固めるが、藩主山内康豊から許されず、追放されて京都に戻る。私塾を開いて糊口をしのぐうち、見かねた野中兼山が送り込んでくれた弟子らは、峻烈さに耐えられず逃げ帰り、兼山とも絶交に至る。嘉右衛門と改名し、闇齋と号し、敬義の字を用い、

・ ・ ・ ・ ・ 1645 = 27歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1646 = 28歳 :

__闇齋としての処女作「關異」で仏教を批判、朱子学の先駆として頭角を現し始める一方、

御蔭参流行・ 1650 = 32歳 :

「白鹿洞学規集註」刊。__神道には関心高く、朱子学の例に則って先祖を祀る祠堂を建てる。

徳川家光没・ 1651 = 33歳 :

新利根川完成1654 = 36歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1655 = 37歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1656 = 38歳 :

*初めて講席を開き、学問、生活ともに儒者として自立、塾の教育は峻烈を極めたものとして知られる。

「孝経外伝」刊。

明暦の大火・ 1657 = 39歳 :

__「倭鑑」の筆を起こさんとし、「日本書紀」の編者舎人親王の廟に詣で、「渺遠難知神代卷、心誠求去豈無因」と詩を賦した。

人身売買禁止1658 = 40歳 :

__「遠遊紀行」刊。__初めて江戸に出て諸大名に講じ、

__これより毎年春江戸に行き秋帰洛して“道”を江戸の武家社会にひろめた。

・ ・ ・ ・ ・ 1660 = 42歳 :

「大和小学」刊。

清帝国始・ ・ 1661 = 43歳 :

この頃、__知り合った4代将軍徳川家綱の後見人で会津藩主の保科正之と神道の話で意気投合、ともに吉川惟足の講義を受け、

殉死の禁止・ 1663 = 45歳 :

諸宗寺院法度1665 = 47歳 :

江戸下向のとき、__保科正之の賓師となり、

酒井忠清大老1666 = 48歳 :

入鉄砲出女令1667 = 49歳 :

「洪範全書」「四書序考」刊。

足利学校再建1668 = 50歳 :

「仁説問答」刊。

ジャクシャインの乱 1669 = 51歳 :

「小学蒙養集」刊。

・ ・ ・ ・ ・ 1671 = 53歳 :

*朱子学と神道を合わせた垂加神道を唱えるようになる。

東南海運確立1672 = 54歳 :

「中和集説」刊。崎門三傑の一人、佐藤直方が入門。

越後屋カブソ 1673 = 55歳 :

「程書抄略」刊。会津に下って正之の葬儀に出る。

__以後東下を中止して京にとどまり、著述と門下の教育に努めた。

・ ・ ・ ・ ・ 1677 = 59歳 :

「本朝改元考」「朱易衍義」刊。この頃、崎門三傑の一人、浅見綱齋が入門。

徳川綱吉将軍1680 = 62歳 :

崎門三傑の一人、三宅尚齋が入門するなど、__最期まで俊秀を育てて、

天下一禁止・ 1681 = 63歳 :

「朱書抄略」刊。

好色一代男・ 1682 = 64歳 :

__没した。